

議会ガイド



徐福来町2222周年記念事業 徐福まつり

9月21日(土)、22日(日)の2日間、中泊徐福まつりが行われた。パネルディスカッションや海山食感グルメまつり、右檣舟漕ぎ競争など様々な催しが行われ、多くの人で賑わっていた。(写真は、徐福伝説フォーラムの郷土芸能で披露された網おこしはやし)

第3回定例会 (平成25年9月)



| | | | |
|----|----------|-------|-----|
| 目次 | ■ 第3回定例会 | | P 2 |
| | ■ 一般質問 | | P 4 |
| | ■ 第4回臨時会 | | P 7 |
| | ■ 議会の動き | | P 8 |
| | ■ 活動報告 | | P 8 |

平成二十四年度決算連結決算で黒字に

小泊診療所の赤字額も縮小

第3回 定例会

9月3日～
12日

平成二十五年第三回定例会が、九月三日から十二日までの日程で開かれました。

六日には一般質問が行われ、川山光則議員、塚本悦子議員、荒関富雄議員の三名が、町側の答弁を求めました。

九日、十日には、決算特別委員会(委員長塚本悦子、副委員長山田光春)が行われ、平成二十四年度一般会計、各特別会計決算に対する質疑が行われ、全会一致で認定すべきものと決定しました。

最終日の十二日には、質疑、討論、採決が行われ、条例改正や一般会計補正予算など議案十六件を、いずれも全会一致で可決しました。

補正予算

■一般会計補正予算第五号

予算総額を二億七七六三万一千円追加するもの。主な補正額(歳出)は次のとおり。

□総務費

- 庁舎老朽度調査 一〇〇万円
- 財政調整基金積立金 二億三三九七万円

□民生費

- 広域入所業務委託料 四二六万円

□衛生費

- 予防接種業務委託料 五九六万円

□農林水産業費

- ピユア排水路整備工事 一三三万円

護納付金の減額と予備費の追加。

□商工費

- 観光案内等看板設置 一二九万円

□土木費

- 公営住宅修繕料 三〇〇万円

□消防費

- 消火栓改修工事 一二九万円

■国民健康保険特別会計補正予算第三号

事業勘定の予算総額はそのまま、内部補正するもの。補正した主な歳出は、後期高齢者支援金等及び介

護納付金の減額と予備費の追加。

診療施設勘定の予算総額を一四六万円追加するもの。

補正した主な歳出は、総務費臨時職員賃金及び医療費

機械器具費の追加。

■介護保険事業特別会計補正予算第二号

予算総額を九二七万九千八百円追加するもの。補正した主な歳出は、前年度保険給付金の確定に伴う国庫

支出金等過年度分返還金及び介護給付費準備基金積立

金の追加。

■特別養護老人ホーム静和園事業特別会計補正予算第二号

予算総額を四一〇万一千

円追加するもの。補正した

主な歳出は、繰越金の確定に伴う、静和園運営調整基金積立金の追加。

■水道事業特別会計補正予算第二号

補正予算額を一一三万七千円追加するもの。主な支出予定は、深郷田配水池地質調査業務及び小泊ダム管理費の追加。

条例関係

■町税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴い、町民税の均等割額の税率を改めるもの。

平成24年度 決算額一覧表

〈表1〉

(単位：円)

| 科 目 | 決 算 額 | | 歳入歳出差引額 | 平成23年度差引額 |
|-----------------|----------------|----------------|---------------|---------------|
| | 歳 入 | 歳 出 | | |
| 一 般 会 計 | 8,416,754,566 | 8,256,534,188 | 160,220,378 | 52,700,339 |
| 国民健康保険(事業勘定) | 2,357,291,206 | 2,347,495,584 | 9,795,622 | △ 6,701,885 |
| 国民健康保険(施設勘定) | 240,869,202 | 439,526,680 | △ 198,657,478 | △ 302,079,406 |
| 介 護 保 険 事 業 | 1,430,742,187 | 1,430,723,987 | 18,200 | 4,721,421 |
| 農 業 集 落 排 水 事 業 | 39,164,994 | 38,753,034 | 411,960 | 319,931 |
| 漁 業 集 落 排 水 事 業 | 22,759,996 | 22,399,413 | 360,583 | 247,106 |
| 特別養護老人ホーム静和園事業 | 329,011,456 | 323,910,042 | 5,101,414 | 4,957,210 |
| 後 期 高 齢 者 医 療 | 240,858,307 | 240,616,091 | 242,216 | 395,146 |
| 水道事業(収益的収支) | 339,972,581 | 298,947,968 | 41,024,613 | 43,638,753 |
| 計 | 13,417,424,495 | 13,398,906,987 | 18,517,508 | △ 201,801,385 |

〈表2〉

| 健全化判断比率 | 平成23年度 | 平成24年度 | 早期健全化基準 |
|---------------|--------|--------|---------|
| 実 質 赤 字 比 率 | — | — | 15% |
| 連結実質赤字比率 | 0.17% | — | 20% |
| 実 質 公 債 費 比 率 | 15.2% | 14.3% | 25% |
| 将 来 負 担 比 率 | 116.5% | 130.8% | 350% |

全会計決算全会一致で認定

九月九日から十日の二日間、全議員をもって構成する決算特別委員会(委員長塚本悦子、副委員長山田光春)が開かれた。

平成二十四年度一般会計の決算状況は、歳入八四億一六七五万四五六六円、歳出八二億五六五三万四一八八円で、翌年度に繰越すべき財源一億六二二〇万三七八円を除く実質収支は、五二七〇万三三九円の黒字決算であった。

特別会計では、国民健康保険の診療施設勘定が赤字決算となったが赤字額は約一億円減少している。(表1)

健全化判断比率の四指標は、実質公債費比率は前年度より改善する数値となったが、将来負担比率は14.3ポイント悪化している。(表2)

傍聴席は、 あなたの席です！！

中泊町議会 平成25年第4回定例会は、11月上旬です。
会議は公開されており、どなたでも議会の傍聴ができます。

平成25年第3回定例会の傍聴者は、3名でした。

皆さんの傍聴をお待ちしております。

一度、町議会へ足を運んで、自分の目でご覧下さい

一般質問

・国道339号線の整備予定は



川山光則議員

Q

中里から小泊方面に向かう七平峠付近から折戸、夫婦岩付近、また旧小泊村の小泊地区から折腰内に向かう道路等の改良がまるで進んでいない。要望、陳情等を進めていけば良いのではないか。

A

■小野町長

七平峠バイパスは県が平成十六年度に事業に着手し、今年で十年になる。



工事中の七平峠バイパス

最終地点において地権者が行方不明のためルートの変更をしたことや政権交代により、予算の確保が難しい時期などがあり、工事が進んでいない。本年度は一億円の予算がつき、これからは順調にいくものと思う。

配や狭隘箇所が多くあるので、特に冬期間の交通に支障を来している実情を述べて、強力に要望していく。

A

■三上環境整備課長

夫婦岩付近の地すべり箇所については、近年横ボーリングからの排水量が減少したため、管の目

詰まりを除去するため、横ボーリング十八本の洗浄を今年既に実施している。また、擁壁がない箇所は今年度調査ボーリングを行い、地下水の観測と地すべりの解析を行い、

対策工法の設計を行うこととなっており、平成二十六年年度に対策工事を実施する予定という回答が県よりあった。

一般質問は インターネット・ライブ中継が ご覧になれます。

パルナス・小泊支所・
すくすくしたまえ館のロビーにも
テレビ中継されています。
ぜひご利用ください。



HPアドレス
<http://www.town.nakadomari.lg.jp/index.cfm>

DMV導入に町の積極的支援を 小型家電リサイクルの実施予定は

津軽鉄道では、DMVを導入し、本州側の入り口である奥津軽駅で乗客を乗せ、道路を走って津軽半島北部に点在する観光地を回った後、そのまま乗りかえなしで津軽鉄道に乗り入れる検討をしている。津軽鉄道の活性化は、奥津軽地域の活性化と表裏一体だと思う。町の観光客増加と地域活性化のため、一刻も早い情報収集と、それに伴う積極的支援を検討し、実現を目指してほしいが、当局の考えは。



塚本悦子議員



■小野町長

鉄道に比べて低コストでの運行ができ、観光面での流入客の増加や地域公共交通の利便性の向上にも貢献できるものと期待されている。国土交通省ではDMVの導入、普及に向けた検討会をこと

の二月に立ち上げ、県でも本年度予算に調査費を計上するなど、実用化に向けた機運は高まっている。

津軽鉄道株式会社から正式な要請等があった場合は、津軽鉄道株式会社と五所川原市、そして中泊町で構成する津軽鉄道活性化協議会の中で検討



津軽鉄道の津軽中里駅



■三上環境整備課長

八月六日に、県内認定事業者が決まったので、これから認定事業者との協議、交渉をもって、回



していく。実現すれば地域の活性化につながり、当町への効果も大変大きいので、今後とも情報の収集に努める。

〈くわがば〉

「DMV」とは。

デュアル・モード・ブール（Dual Mode Vehicle, DMV）略称。

列車が走るための軌道と自動車が進むための道路の双方を走ることが出来る車両のこと。



試作中のDMV（JR北海道）

取方法や運搬方法などを詰めていく。九月十八日に青森市で環境省の説明会があるので、参加し、回収のガイドライン、契約のガイドラインなどが示されるので、それをもとに、小型家電回収に前向きに取り組む。

- ・新庁舎建設で財政への影響は
- ・新庁舎建設基本計画の策定時期は
- ・派立地区の融雪溝設置時期は



荒関富雄議員

三億八千万円と比較しても大幅な増額はないと見込んでいる。
 今後も財政調整基金の確保に可能な限り努めるなど、今後の厳しい財政状況を念頭に置いた予算編成を進める。

Q

一般会計と特別会計を合わせると百三十億円ぐらい借金がある。今後新庁舎を建設した場合に財政的に影響がないのか。

A

■横野財政課長

新規事業である新公営住宅建設事業及び新庁舎建設事業を反映した公債費、起債の償還額のシミュレーションでは、平成二十六年以降十一億から十二億円の間で推移し、今年度の償還見込額約十

Q

新庁舎建設については、検討委員会など設置して、いま議論されている最中だが、基本計画の策定時期はいつか。建設の財源

A

■小野町長

基本計画の策定については、本年七月に町内の各組織、そしてまた団体の代表者から成る新庁舎検討委員会を設置して、十三名の委員に新庁舎の基本構想等について検討いただいている。

役場内にも課長等から成る庁内の幹事会を設置し、委員会への情報提供など連携しながら進めている。現在の予定では、来年の一月に検討委員会から新庁舎の基本構想を提出いただく予定である。財源については、合併特例債及び合併振興基金を活用し、一般財源をあまり使わず建て替えたい。

Q

雪対策として、派立地区の融雪溝整備は、いつ

A

■三上環境整備課長

七月に融雪溝整備の測量及び設計業務委託を発注した。整備区間としては、駅前交差点からわんぱく広場まで約六百五十メートルを考えている。また、整備期間は測量設計業務委託の結果によって変わることも考えられるが、平成二十六年から三カ年で整備したい。



造成中の新公営住宅



第4回臨時会

7月17日

平成二十五年第四回臨時会が、七月十七日に開かれ、議案三件が、いずれも全会一致で可決、同意されました。

工事請負契約

■工事請負契約の締結について

- ・契約の目的
地域情報通信基盤整備事業光ファイバ敷設工事
- ・契約金額
二億一六〇万円
- ・契約の相手方
東日本電信電話株式会社 青森支店

補正予算

■一般会計補正予算第四

町全域に光ファイバ導入へ

号

主な歳出は、総務費として国際交流事業参加者の確定に伴う、国際交流旅行業務委託料を追加、商工費として「徐福来町二千二百二十二周年記念事業」の開催に係る船舶借上料など。

人事案件

■町固定資産評価審査委員会委員の選任について

委員の死去に伴い、新たに佐藤恭一氏を選任するにあたり、議会の同意を求めるもの。



国際交流事業の様子

議会運営委員会

(兵庫桂蔵 委員長) 8月26日(月)

〈案 件〉

- 平成25年第3回中泊町議会定例会会期日程について
- 提出議案について
- 新規に受理した陳情等の取り扱いについて
- その他

議会運営委員会

(兵庫桂蔵 委員長) 9月3日(火)

〈案 件〉

- 新規に受理した陳情等の取り扱いについて
- その他



委員会だより

9 月

- 14日 三常任委員会合同視察研修・要請活動
- 13日 三常任委員会合同視察研修・要請活動
- 12日 単行案審議・採決・閉会
- 10日 決算特別委員会
- 9日 決算特別委員会
- 6日 定例会一般質問
- 3日 第三回定例会開会日
議会運営委員会
総務企画常任委員協議会

8 月

- 26日 議会運営委員会
- 20日 西北五広域福祉事務組合定例会
- 11日 なかどまりまつり
- 10日 なかどまりまつり

7 月

- 11日 県下町村議会議員研修会
全国森林環境税創設議員連盟定期総会
- 16日 屏風山内万部線完成促進期成同盟会通常総会
- 17日 第四回臨時会
- 産業建設常任委員協議会
- 総務企画常任委員協議会
- 23日 北五地区農業委員大会
- 26日 西北郡町村議会議長会協議会



津島淳衆議院議員に対し
要望書を手渡す沖崎議長

活動報告

三常任委員会
視察・要請活動

9月12日～14日

- 九月十二日(木)から十四日(土)の日程で、三常任委員会合同で、視察研修及び県選出国会議員に対し要請活動を実施した。十三日には、首相官邸、参議院議員会館、衆議院第二議員会館にて、地元選出国会議員に対し、要望書を提出。
- 要望事項は、
- ① 主要地方道五所川原車力線(仮称)第二津軽大橋の早期完成について
 - ② 国道三三九号線七平峠バイパスの早期完成について
 - ③ 国道三三九号線夫婦岩付近の地滑り対策について
 - ④ 環太平洋パートナーシップ(TPP)協定における主要農産品の適用除外について
- また、十四日には、二年半たった宮城県塩釜市の復旧、復興の状況を視察。港町の「武田の笹かまぼこ工場」を視察。衛生上、窓越しの見学となったが見学過程の通路には、腰の高さ付近まで青く塗装された部分があり、津波が押し寄せた高さだと聞かされた。工場、店舗は、壊滅的な被害となったが社員の努力により同年6月に復興オープンとなった。
- 市街地については、いまでも土嚢がそのまま積んであるところが随所に見受けられ当時の傷跡が残っているものの、がれき等がきれいに撤去され活気が戻ってきているように感じられた。